

上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会（第2回）

議事要録

- 日時 2016年2月15日（月）15時30分～17時00分
- 場所 町田リサイクル文化センター 研修室
- 出席 委員：中丸一男会長、安達副会長、中丸康明委員、彦根委員、田中委員
- 欠席 0名
  
- 事務局                   ：小島環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長、水島環境資源部次長  
循環型施設整備課：守田課長、深澤担当係長、市川担当係長、中島主任、田中主事  
環境政策課：塩澤担当課長  
資源循環課：窪倉課長、河原担当課長、滝統括係長、林統括係長、岡本係長  
コンサルタント：株式会社 日建設計
  
- 傍聴者 0名
- 配布資料
  - 資料1 第1回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
  - 資料2 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方(案)
  - 資料3 資源ごみ処理施設の他市の事例紹介
  - 参考資料 資源ごみ処理施設概要の比較
  - 資料4 2016年度までの上小山田地区連絡会検討スケジュール（案）  
および地区連絡会等における今後の協議事項について

## 1. 開会の挨拶

小島部長より、開会の挨拶を行った。その後、事務局より配布資料と議題の確認を行なった。

## 2. 協議事項

### ○ 議題1 第1回連絡会で頂いた御意見・御要望について

資料1を用い、事務局から、第1回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・ **中丸(一)会長** 上小山田の施設は忠生579号線が完成しなければ、仮にこの施設が完成しても稼働しないという事で宜しいか。
- ・ **事務局(深澤)** 意見書に回答させていただいた内容のとおり。

### ○ 議題2 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方について

資料2を用い、事務局から、資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・ **田中委員** p3「(4) 環境保全対策」で、周辺対策は記載されているが、施設内の対策(安全、職員の健康管理、見学者に対する広報)はどうなっているか。施設を作るなら中で働く人の事も考えてほしい。安全対策は何も書いてないが、そういうところも必要ではないかと思う。
- ・ **田後担当部長** それについては、考えなければいけない。市が公設公営で運営していく予定である。委託業者が入ると思うが、安全対策は労働安全衛生上の安全規則などを遵守する。具体的な内容は仕様書へ明記する。  
不特定多数の一般の見学者は2階フロア又は1階からガラス越しの見学を考えている。市が考慮すべき事項は、プラスチックを手選別ラインは、作業時間、休憩時間、マスクや帽子などの服装、設備からの有害ガスの発生時に、それを除去する仕組みや、作業をされる方のスポット的な環境を考える必要がある。  
リレーセンターみなみは今日から試運転が始まった。町田市では初めての事なので、これらの様子、状況、施設、また相原の施設についても検討する必要があると思う。環境保全対策とはこういう事ですと漠然と書いてあるが、これから具体的に細部の検討を考えている。
- ・ **中丸(康)委員** 建築計画に対する制約条件、都市計画上の規制の中に、この地区は容積率80%、建ぺい率40%とは決まっていないのではないか。
- ・ **事務局(守田)** 建築基準法の告示の中で建ぺい率と容積率は決まっているため、それを記載している。用途地域が定められていないため、都市計画図には表示されないが、市で建築基準法に従い、その告示で容積率と建ぺい率を定めている。
- ・ **中丸(康)委員** 指導要綱で、無指定は70・400だが、40・80にしないと指導があるだけではないのか。
- ・ **事務局(守田)** 建築基準法の告示で決まっており、平成16年(2004年)の5月17日に指定している。基本的に白地、用途地域が決まっていないところは容積率80%、建ぺい率が

40%で指定されている。建築基準法の告示となる。

- ・中丸(一)会長 寒川の手選別ラインで働いている方々は、あの臭気の中では大変だと思う。町田市でも同じような施設を作っているのか疑問を持った事と、福利厚生も十分考えて考慮してほしい。
- ・中丸(康)委員 資料2の最初、ごみ処理施設は都市施設として今後都市計画決定を行う予定とあるが、都市計画決定してから用地買収なのか。
- ・事務局(守田) 都市計画決定してから用地買収する予定だ。
- ・中丸(康)委員 市街化調整区域だから家が建たない事を前提に、地価が安いから、安い値段でしか購入できないとの説明だった。都市計画施設と施設が設置できる事になったなら、土地の価格を上げていいと思う。都市計画施設ができる土地になれば、そこは住宅等を建ててはいけない土地ではなくなった。それなりの値段を付けてもおかしくないと思う。都市計画決定するのであれば、それなりの地価での買収を検討して欲しい。

### ○ 議題3 資源ごみ処理施設の他市事例について

資料3を用い、事務局から、資源ごみ処理施設の他市事例について説明した。

(以下、質疑応答)

- ・田中委員 4ページと8ページの「施設の特徴」は、類似した項目なので、比較できると良かった。同じ項目名称に変えて、国から土地を借りて作った事と、こちらはURから借りた等、外部環境では昭島はこう、多摩はこうだと、比較したい。読めば分かるが、項目が異なるため、今後の視察では項目ごとに合わせて作ると分りやすい。
- ・小島環境資源部長 そのように変更する。

### ○ 議題4 今後のスケジュールについて

資料4を用い、事務局から、今後のスケジュールについて説明した。

(以下、質疑応答)

- ・中丸(康)委員 4月から容器包装プラスチックの資源化業務が本格稼働するリレーセンターみなみの視察が入っていない。現地について、前回配られた資料ではよく分からないため詳しい資料を依頼したが、前回とあまり内容が変わらない。
- ・田中委員 カブトムシ採りなどに行ったので、一目瞭然で分かる。私は分かるが、現地視察として、立ち入り、周りの人を刺激しない方法も必要かと思う。軽自動車ぐらいしか入れないので、途中で止めて歩いて行くか、上の病院やお墓のところから、見学してはどうか。
- ・田後担当部長 現在、表示できる限界の図がこれである。地権者の了解も得ず、公式の会議に提示する事になるため、そこは配慮した。道路については地区連絡会では直接関係が無いため、微妙な状況となっている。皆さんは、地権者ともお知り合いという事もあるため、今の段階ではこのレベルまでの提示となる。道路と地権者の進捗状況に合わせて資料は提示する。先ほど、こころのホスピタルとかお墓の方から見学という話があったが、民地のため難しい。今の段階ではこれ以上出せないというのが正直なところだ。
- ・田中委員 この辺で農地として働いている人は2軒ぐらいしかいないと思う。
- ・田後担当部長 赤い破線で囲ってあるのは、大まかなエリアであり、決定範囲ではない。その

ため、これ以上の詳細は提示できない。この中に土地を持っているのがどうなっているかと問われても、まだ明確になっていないとお答えする状況だ。

- ・ **中丸(一)会長** 連絡会としては現状そういう風に捉えるよりしようがない。
- ・ **安達副会長** 素朴な質問だが、この赤で囲んだ地域は、住民へ役所側として、こういう施設ができると話はある訳ですよ。その辺の話が、言った言わない、言えない言えるとなっているので、どこまでの範囲で理解したらいいのか分からない。
- ・ **田後担当部長** 忠生579号線という新しく道路を造り、そこに接道するように施設を作る話は、2013年の整備基本計画の段階で話をしている。場所は決めていないが、この辺に資源化施設を作るという市の意思表示はしている。具体的な進め方は、道路線形が明確にならないと、入口の位置等も決まらないというところに戻ってしまう。公になっているのは、第1回で出した資料程度である。それに付随する話は上小山田町内会の説明会などで、話している。具体的に誰の土地に建設するとは話していない。
- ・ **安達副会長** そういう状況で、2020年にオープンできるのか。
- ・ **中丸(一)会長** 上小山田の意見もあるし、まず道路ができなければ駄目だと言っている。赤いエリアの中で考えてくださいと言ったほうが正しいと思う。
- ・ **田中委員** 上小山田町内会での説明会に出された意見により、田中谷戸地区の住民のみの説明会を開いていただいた。二十何軒かと議員さんは二人だけ集まり、説明している。だが、こういう説明はしていない。自分の土地の買収交渉までは行っていない。町田市土地をある程度畑として整備し、それを借りて耕作している人がいる。その人は、あと何年間で返してもらう可能性があるという事で、了解していると話をしていた。
- ・ **田後担当部長** 安達委員から2020年の稼働の件で質問があったが、道路と周辺整備ができないと、施設は設置できないと思っている。
- ・ **中丸(康)委員** リサイクル文化センターは環境調査の関係で1年遅れて2021年の予定ですね。その時点で、ここが未完成だとどうなってしまうのか。
- ・ **田後担当部長** その可能性は今ゼロではないと思っている。リサイクル文化センターの隣に資源化施設として資源協同組合の作業場所がある。あのプラントを継続して使用するしかないという事も考えている。
- ・ **中丸(康)委員** 新しい施設ができて、その施設に影響はないのか。
- ・ **小島環境資源部長** 今のビン・カン資源化施設は残る。
- ・ **田後担当部長** 相原等の施設が間に合わない場合は、ここを続けて使用する事は考えているが、具体的なところまではまだ検討はしていない。
- ・ **中丸(一)会長** 相原が先に稼働した場合に、他の施設で再資源化する分を相原に持って行く事はないのか。例えば小山田地区の分も相原で処理し、小山田が稼働したら半分持ってくるという考えは持っていないのか。
- ・ **田後担当部長** 全市の処理機能の規模が2分の1しかいないため、片方だけでは処理しきれない。一か所だけで処理する事は物理的に不可能だ。そのため、先ほど、お話したように、現行施設と併用する可能性はゼロではない。
- ・ **中丸(一)会長** どちらかの施設が故障した場合どのように対処するのか。故障が無いとはいえない。点検もあるだろう。そういう時はお互いに処理を行うのか。
- ・ **田後担当部長** それは具体的に、検討していない。相原と上小山田の施設の規模は同じだが、

同じ業者同士か、違う業者が運営するかにより、考え方が変わる。市で考えるが、点検時、また故障時の対応は今後検討する。

- ・ **中丸(一)会長** そういう事もこの地区連絡会で検討していいのか。
- ・ **田後担当部長** はい。
- ・ **安達副会長** 連合として説明するに当たり、2020年決定ではなく、予定として動いているという説明の方が宜しいという事ですよ。
- ・ **田後担当部長** はい。
- ・ **安達副会長** 地区連合の会議で、私もそういう説明をする。それを聞いた方は、2020年に間違いなく上小山田は稼働すると捉えていると思う。予定どおりリレーセンターみなみは今日から3月31日まで試験運転をやりますね。それが予定どおりになっているならば、こちらも2020年には稼働すると受けとると思う。この辺が明確にならない限りは、はっきりと伝えられない。
- ・ **田後担当部長** リレーセンターはスタートし、4月から稼働する。これは実績としてすぐに出る。上小山田は、まだ正式な公表をするタイミングでは無い。今の段階では町田市も資源化施設については、2020年にスタートするという言い方をしている。現段階で延びるかもしれないと市からは言えない。
- ・ **安達副会長** 今週、19日に連合の会議があるが、そこでもう一回説明し直す。
- ・ **田後担当部長** そういうご意見がある事は知っているし、物理的に難しい事も分かっている。現段階で、では2020年がいつになるのだと言われても、はっきり分からない。はっきりした段階で、伝える。今の段階では2020年という事だ。
- ・ **安達副会長** 説明も、大まかな方が宜しいようだ。
- ・ **中丸(康)委員** 相原の経過がどうなっているのか、全く分からないので、説明していただきたい。相原は2020年で確実になっているのか。
- ・ **田後担当部長** 施設の配置、位置、レイアウト、進入路、建物の中の設備の配置はまだだが、エリアの中のこの辺に建物が建って、動線上はこうなるなど、具体的な検討はしている。相原にも地区連絡会があるので、オール相原の皆さんと議論している。その内容は、設置場所の大戸地区の検討会でも話をしている。付帯施設はどのようなものを整備するかという意見ももらっている。見学コースや、会議室等、安全対策、降雪時の対策など話し合いはしている。民有地のため、所有者と交渉している段階だ。
- ・ **田中委員** 予定どおりに進めていると。先ほど中丸会長が言ったように、故障の時にどうするか。全部止まるのか。例えば1個だけの梱包する機械ではなく、2つの梱包する機械や、ベルトコンベアで手選別は2つルートを置くなど、1個の機械を100%稼働させるのではなく、故障の事を考え、最低2つ用意するなど、そういう設計にしなければ、故障時を考えると全面的に止まらず、片方だけでも稼働できるように設計してもらいたい。
- ・ **田後担当部長** ご意見を参考にさせていただく。予備機の必要性や予備機を設置する初期費用と、場外搬出し処理するコスト等を比較していかなければならない。それはこれから議論するが、安全性は最大限、安全対策費用はしっかり付けていこうと思う。

寒川の場合は、重量系と軽量系と分けているが、それはトラブルが起きたら1系列で続けられる事例等も参考にして、検討する。ただ、2系列を設置すると、人の配置なども変わる可能性があるため、今後検討していく。

- ・ **中丸(康)委員** 予備は、作らない方がいいと思う。多摩清掃工場は4市の施設だし、資源化施設は多摩や八王子にもある。他市の資源化施設と、故障時の対応を検討された方がいいのではないか。
- ・ **田中委員** 何日間も処理できない事になると大変なので、何か方法を考えたほうがいい。
- ・ **田後担当部長** ごみの焼却炉だと応援協定やブロックなどで連結するようにはなっているのが、資源ごみには、そのような仕組みはない。所有している資源化施設は、能力を自分の市の資源化物の数字で決めているため、すぐには処理できない状況もあると思う。ただ、余裕がゼロではないはずなので、相互に協力する事はぜひ考えていきたい。そのような対応をすれば、予備機を作らなくても操業を継続できると思う。
- ・ **田中委員** 予備機を作らないのなら、ストックヤード等、簡単なものを設置しては。
- ・ **田後担当部長** 臭いの問題等あるため、ストックヤードは余り作りたくない。
- ・ **彦根委員** そんなに壊れないと思う。致命的な故障のある機械はないと思っている。年間の運転時間が250日間と、決まっている。あと100日間は、メンテナンス期間だと思う。
- ・ **田中委員** 機械物というのは100%壊れます。
- ・ **彦根委員** ある程度は余裕があるかなと思っているので、予備機を作るほどの設備ではないと思う。必要なのは、排気のブザー等、安全対策は積極的に行わないと駄目だと思う。  
それから、議題3にある「資源ごみ処理施設概要の比較」で、相原・上小山田資源ごみ処理施設の敷地面積が2万㎡、寒川が1万2,063㎡となる。処理量が、約半分という感じがしないが、面積が広く建屋も広い、床面積も広いのは何か理由があるのか。
- ・ **事務局(守田)** 相原と上小山田は、相原は斜面地が多い事と、上小山田は道路が上がりますので盛土して法面ができるなど、地形上の関係がある。寒川は平らな地形である。町田は平らでないところで整備するため、この程度の面積が必要と提示している。
- ・ **中丸(一)会長** 機械は実際処理する量の100%ではなくて70%程度で作ってあると思う。30%残っているのだから。もう1点は、先ほどの2系統ではなく、途中で切り替えができれば、片方が壊れても回っていく、そういうのも考えの1つだ。

### 3. 事務連絡

#### ○ マイナンバーについて

(以下、質疑応答)

- ・ **事務局(中島)** 委員みなさまの、個人情報保護のため、直接手渡しで収集させていただきます。
- ・ **事務局(守田)** マイナンバーについてはまた改めて御案内させていただきますので、宜しくお願いします。

### 4. 開会の挨拶

田後循環型施設建設担当部長より、閉会の挨拶を行った。

(17時00分 閉会)